

【参考資料】神戸市みどりの基本計画の概要資料

神戸市みどりの基本計画（本編案）、（施策編案）の概要

1. 神戸市みどりの基本計画（本編）の概要

《 目 次 》

序章 はじめに

1. みどりの基本計画とは
2. 計画改定の背景と目的
3. 計画の構成
4. 計画期間と目標年次
5. 計画の位置づけ
6. 計画における「みどり」
7. みどりの効果

第1章 計画の基本理念と将来像

1. 計画の基本理念
2. 神戸のみどりの将来像

第2章 神戸市の概況

1. 神戸の自然やまちの特徴
2. 神戸の緑の現状
3. 神戸の緑の特徴

第3章 課題と今後のみどりへの展望

1. 課題と今後のみどりへの展望

第4章 施策の展開

1. 里地里山・森林の保全・育成・活用に取り組みます
2. まちの緑や公園・街路樹を有効に活用します
3. 多様な主体とともにみどりを支えます

第5章 計画の目標とみどりへのかかわり方

1. 計画の目標
2. みどりへのかかわり方

第6章 計画の見直しと改善

参考資料 用語解説

序章：はじめに

1. みどりの基本計画とは

- ・「みどりの基本計画」は都市緑地法第4条に基づく計画。
- ・緑地の保全や緑化の推進、都市公園の整備などに関して、基本理念やみどりの将来像、施策、目標などを示す。

2. 計画改定の背景と目的

前計画「神戸市緑の基本計画（グリーンコウベ21プラン）」（2000年策定、2011年改定）

《社会経済情勢の変化》

- ・ 気候変動、ヒートアイランド
- ・ 新たな価値観
(Well-being（幸福度）など)
- ・ 科学技術の進展（DXなど）
- ・ 人口減少など

《下位計画の集約》

- 「KOBEパークリノベーション」
- 「大規模公園ビジョン」
- 「街路樹再整備方針」

これからの25年に向けて「神戸すみどりの基本計画」の改定

序章：はじめに

3. 計画の構成

本編

✓ 「基本理念」や「将来像」等を示す

施策編

✓ 詳細な「施策」等を示す

4. 計画期間と目標年次

計画期間：2026年～2050年の25年間

目標年次：2050年

※なお、本計画については、10年を目処に、
適宜見直しを図ります

序章：はじめに

5. 計画の位置づけ

上位計画

神戸市総合基本計画(マスタープラン)



関連計画・戦略

連携・相互補完

神戸市みどりの基本計画

- ・ 神戸市都市づくりのマスタープラン
- ・ 人と自然との共生ゾーン整備基本方針
- ・ 神戸市都市景観形成基本計画
- ・ 「港都 神戸」グランドデザイン
- ・ こうべ森林整備戦略
- ・ 神戸市環境マスタープラン
- ・ 生物多様性神戸プラン
- ・ みちづくり計画
- ・ 神戸っ子すこやかプラン2029
- ・ 神戸里山再生戦略

6. 計画における「みどり」

「緑」：植物自体や森林、公園・緑地等の緑の空間を示す

「みどり」：緑の空間における取り組みや活動を示す



「みどり」

「緑」

空間
(SPACE)

森林や農地、河川、公園・緑地、街路樹、花壇など、存在としての緑のこと。

取り組み・活動
(ACTION)

植樹や飾花、里地里山活動、庭の手入れなど、緑の空間における取り組みや活動のこと。

序章：はじめに

7. みどりの効果

空間の効果

…里地里山や森林、公園・緑地、街路樹などの緑の空間があることで得られる効果

例) ヒートアイランドの緩和、生き物の生息空間、遊びの場や避難場所としての効果

取り組み・活動の効果

…緑の空間を利用することで得られる効果

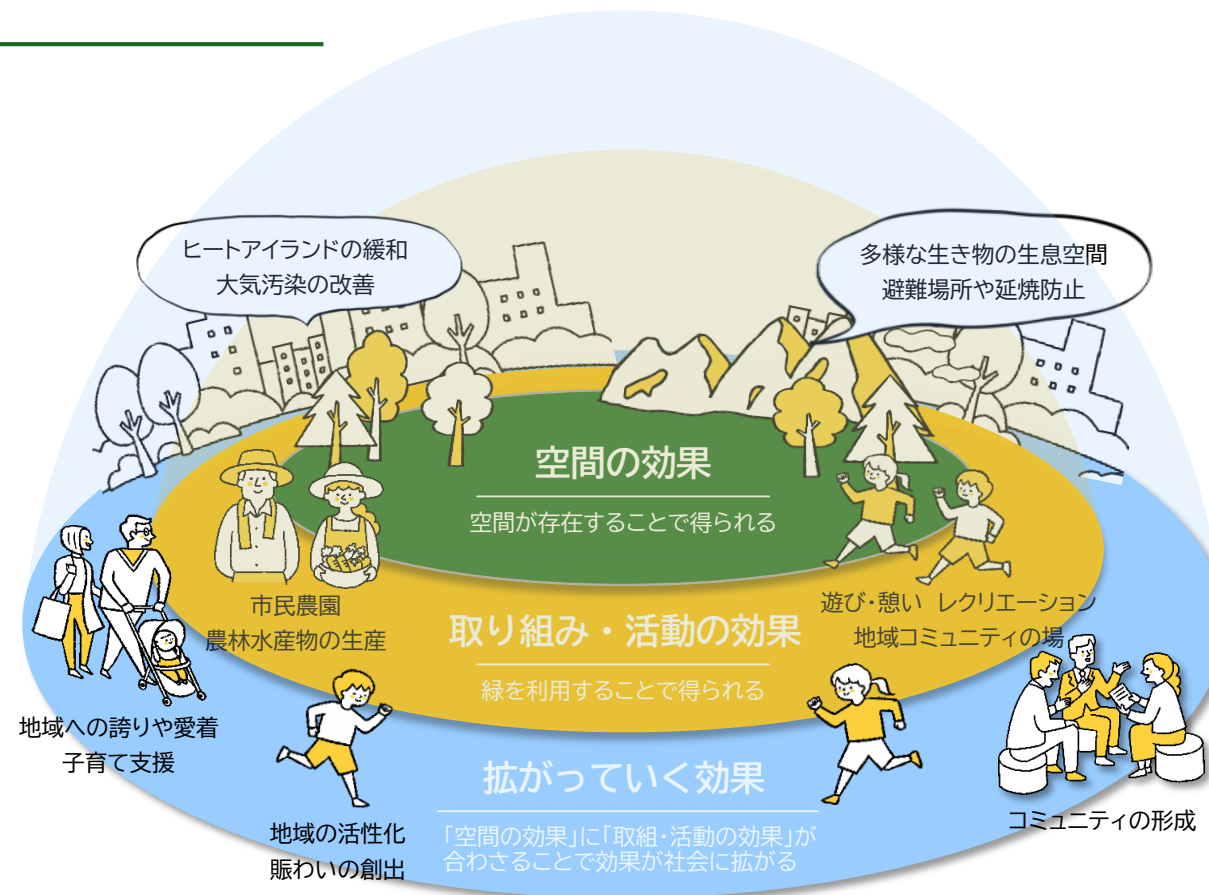
例) レクリエーション活動や地域コミュニティの場、市民農園などの活用

広がっていく効果

…緑の空間が存在し、それを利用することで生まれる、社会に広がっていく効果

例) 地域への誇りや愛着、コミュニティの形成、にぎわいの創出、健康・福祉の増進

この3つの効果は「空間の効果」から「広がっていく効果」への一方通行ではなく、逆方向の広がりもある。これらの双方向の関係性が強いほど、緑空間とその地域の価値が高まる。



【図1 みどりの効果】

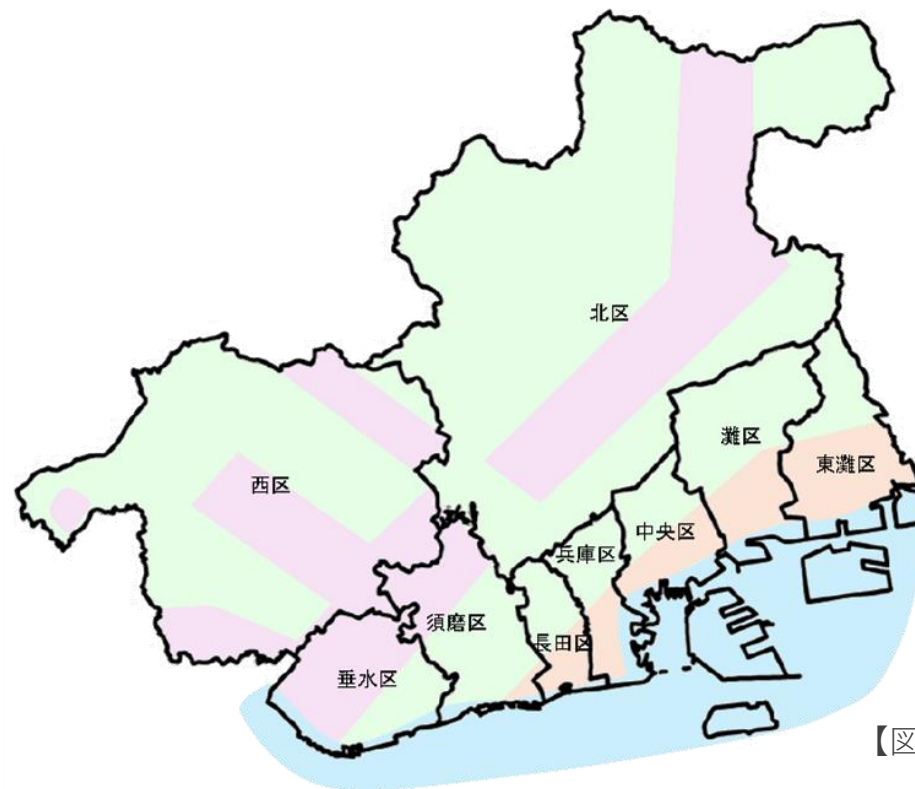
第1章：計画の基本理念と将来像

1. 計画の基本理念

緑とともに生き続ける都市＝緑生都市

2. 神戸のみどりの将来像

里地里山・森林	人の手によって持続する里地里山や、六甲山をはじめとする森林エリアの保全・育成・活用に向けて、資源を循環させながら適切に管理し、みどりを受け継ぎます。
ニュータウンを含む郊外部	豊かな自然や緑地などに囲まれた郊外部では、緑と住環境が共存したエリアを目指します。
既成市街地	緑の高質化や緑化を推進し、みどりの魅力を高めたエリアを目指します。神戸の顔となる都心では、更なる緑化を進めます。
ウォーターフロント	貴重な自然環境や歴史・文化を保全しつつ、新たなにぎわいや緑の創出を進めるエリアを目指します。



【図2 緑の空間構成】

第2章：神戸市の概況

1. 神戸の自然やまちの特徴

《地形》

- ・面積は約557km²、六甲山系によって南北に二分され、その南側は平野部や埋立地が、北側は丘陵地や平野部から成る

《地質》

- ・六甲山系は風化すると崩れやすい花崗岩で形成
- ・須磨地域や北部には神戸層群、西神地域には大阪層群が分布

《水系》

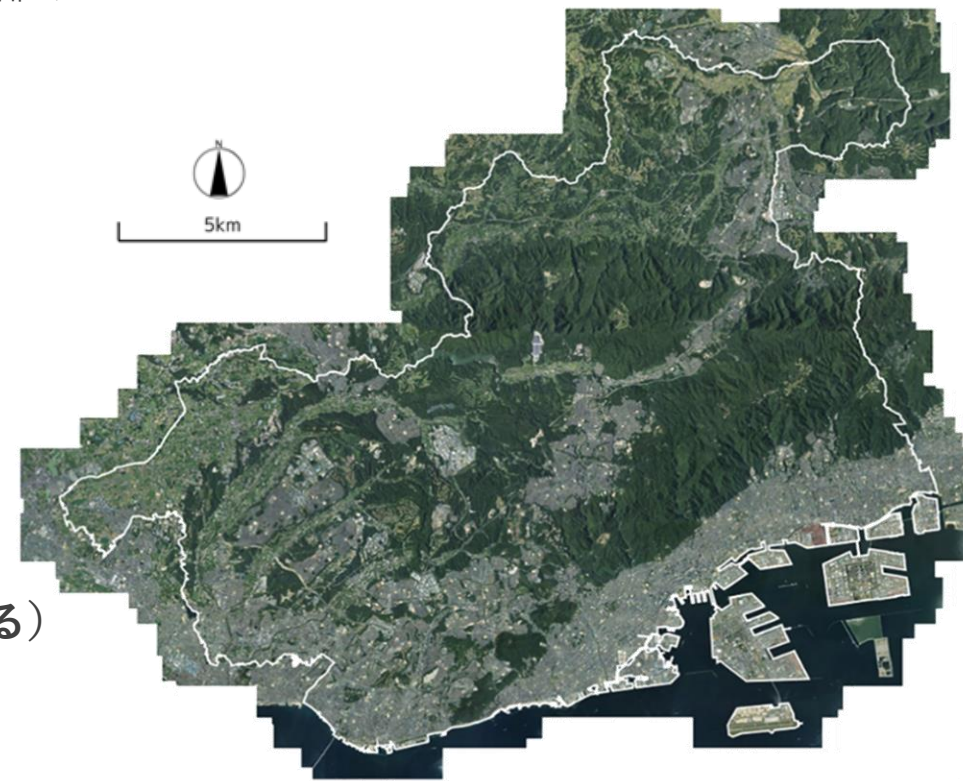
- ・表六甲水系、明石川水系、加古川水系、武庫川水系の4つの水系

《市街地等の形成状況》

- ・東灘区～須磨区（古くから神戸の市街地を形成）
 - ：人口の約51%（約76万人）が約25%（約134km²）の土地に居住
転入超過の傾向で、居住者の平均年齢も比較的低い
- ・北区、垂水区、西区（新たなまちづくりが行われたニュータウンがある）
 - ：人口の約49%（約73万人）が約75%（約423km²）の土地に居住
森林や里地里山が保全されている

《海辺》

- ・産業活動が中心であるが、にぎわい空間の整備が進んでいる



【図3 神戸市の概況】

第2章：神戸市の概況

2. 神戸の緑の現状

(1) 緑被率

【市全域】

- ・市全域では66.2%、市街化区域で31.4%、市街化調整区域で86.6%。

前回までの調査と比較すると、市街化区域の緑被率は現在も3割を超えており、ほぼ横ばいの傾向が続く。

表1 市街化区域の緑被率

	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	長田区	須磨区	北区	垂水区	西区	神戸市
2005 年緑被率 (%)	16.7	20.5	10.0	11.8	19.9	39.7	55.0	37.0	35.6	32.9
2024 年緑被率 (%)	20.4	25.2	16.7	15.3	25.7	35.6	53.7	29.2	28.4	31.4
市街化区域の 緑被率の変化 (2005 年→2024 年)	+3.7	+4.7	+6.7	+3.5	+5.8	-4.1	-1.3	-7.8	-7.2	-1.5

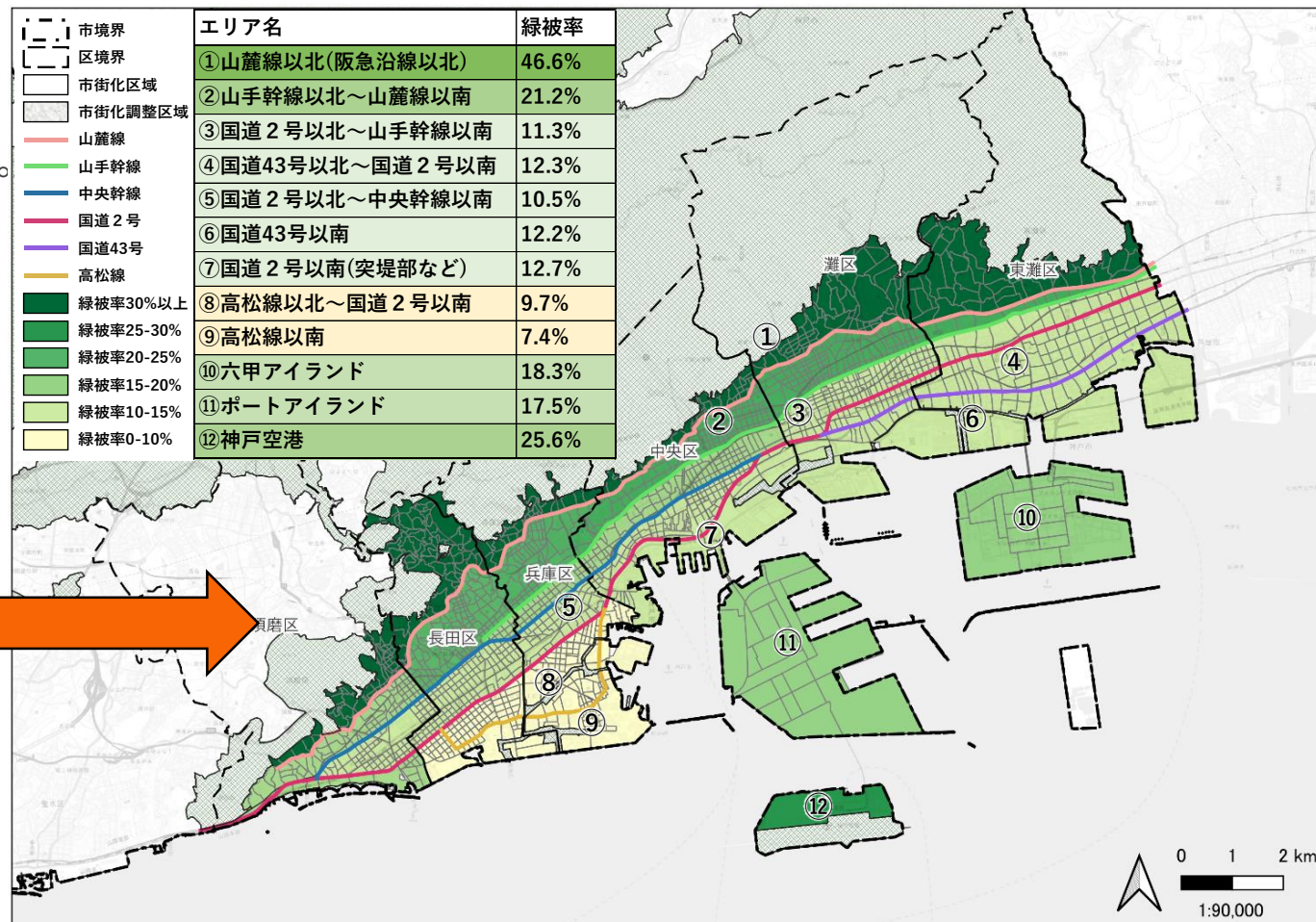
第2章：神戸市の概況

2. 神戸の緑の現状

(1) 緑被率

【六甲山南麓】

- ・ 山麓線以北（①）は46.6%と高く、
山手幹線以南（③～⑨）は10%前後と低い。



【図4 六甲山以南のエリア別の緑被率（市街化区域）】

第2章：神戸市の概況

2. 神戸の緑の現状

(2) 公園（一人当たり公園面積）

他の政令指定都市より高水準

密集した土地利用
⇒公園面積が
少ない

計画的に公園・緑
地が整備
⇒公園面積が
多い

種別 区別	人 口 (人) 2024.10.1	住 区 基 幹 公 園 (街区、近隣、地区)			そ の 他 総 合 公 園 等		全 体		1人当り 公園面積 (㎡/人)
		箇所数 (箇所)	面 積 (ha)	1人当り 公園面積 (㎡/人)	箇所数 (箇所)	面 積 (ha)	箇所数 (箇所)	面 積 (ha)	
東灘区	210,191	171	52.3314	2.49	175 ・神戸総合運動公園、 ・王子公園、 ・布引公園、 ・須磨離宮公園、 ・須磨浦公園、 ・北神戸田園スポーツ公園、 ・神戸青少年公園、 ・しあわせの森、 ・森林植物園 等	1,980.19	1,699	2,641.91	17.70
灘 区	135,956	84	29.7125	2.19					
中央区	149,596	66	46.1683	3.09					
兵庫区	110,077	72	33.4784	3.04					
長田区	92,516	88	24.7185	2.67					
須磨区	153,535	160	87.3067	5.69					
北 区	204,100	314	134.7418	6.60					
垂水区	206,384	270	73.6972	3.57					
西 区	229,917	299	179.5656	7.81					
合 計	1,492,272	1,524	661.7205	4.43					

【表3 区ごとの公園面積（2024年度）】

第2章：神戸市の概況

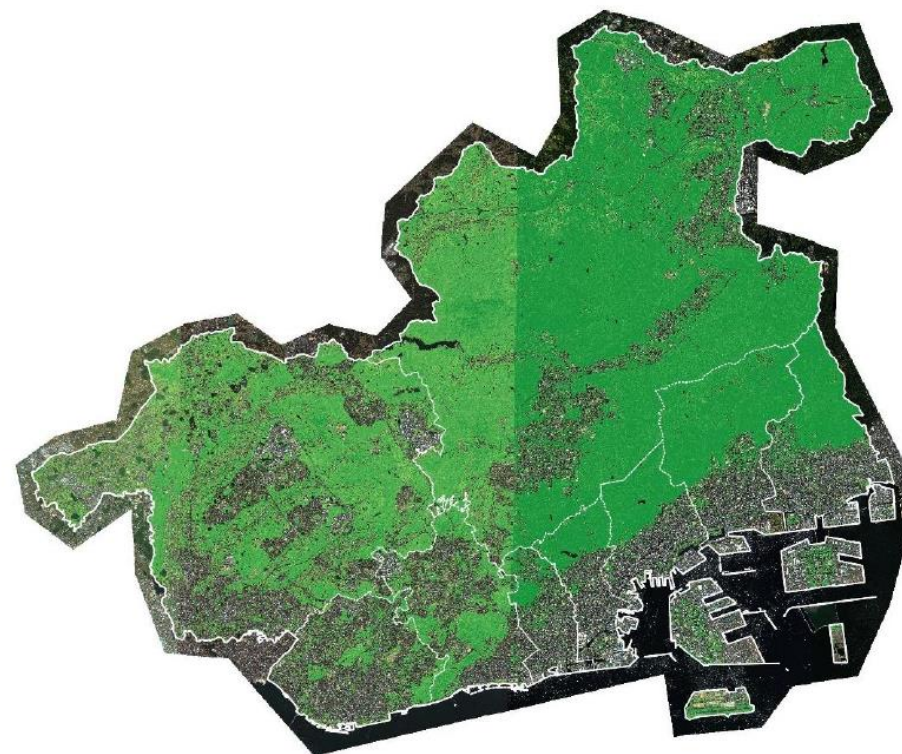
2. 神戸の緑の現状

(3) まとめ

- ・ 郊外部では、六甲山をはじめとする緑や、農業等の営みにより緑被が担保され、規模の大きな公園も確保。
- ・ 既成市街地では、緑被率は増えているものの、公園整備などの公有地の拡大は困難であり、大幅な緑の創出は難しい状況。



- ・ 公園・緑地や森林等の公有地の緑は適切に管理。
- ・ 都心やウォーターフロント等の面的な再開発に際しては、新たな緑を創出していく必要がある。
- ・ 郊外部の里地里山・森林や既成市街地の社寺林等の民有地の緑は、所有者と協力して適切に保全や管理。
- ・ 市街地における民有地では更なる緑化を促進。
- ・ 行政はこれらの取り組みを持続的にサポートしながら、市民が緑に触れる機会の平等化を進めていく。



【図5 神戸市全域の緑被分布】

第2章：神戸市の概況

3. 神戸の緑の特徴

里地里山・森林

- ・郊外部に広がり人々の営みによって維持される、田園や農地を含む里地里山
- ・神戸を代表する六甲山系をはじめ、帝釈・丹生山系や雄岡山・雌岡山などの山や森林

ニュータウンを含む郊外部

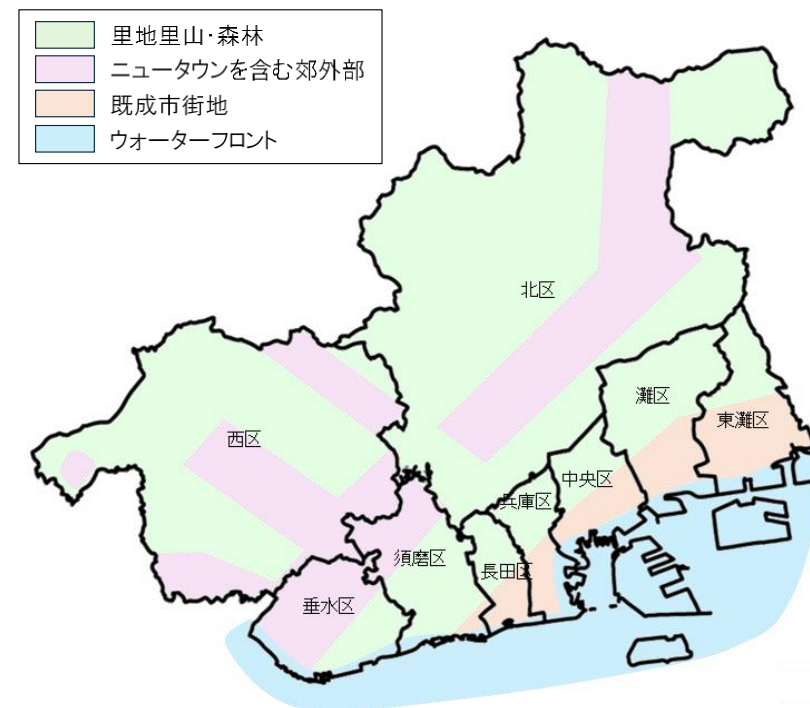
- ・住宅地とともに計画的に配置された公園・緑地や街路樹、住宅敷地内の豊かな緑

既成市街地

- ・まとまった緑は少ないものの、古くから市街地の形成に合わせて、市民の生活とともに育まれてきた緑地や公園・街路樹等
- ・にぎわいの中心で、来街者を迎える、神戸の顔となる高質な都心の緑

ウォーターフロント

- ・これまでは限られた場所にしか緑がなかったが、新たなにぎわいの創出など、再開発が進むウォーターフロントの緑



第3章：課題と今後のみどりへの展望

1. 課題と今後のみどりへの展望

	課 題	今後のみどりへの展望	目指すまちづくり
(1) 地球温暖化	<ul style="list-style-type: none">・都市化の進展により減少する緑・放置された里地里山・森林と活用されていない伐採材・不足している管理の担い手	<ul style="list-style-type: none">・法律や条例等に基づく緑の保全・育成・適切な管理による里地里山・森林の再生と資源循環の推進・みどりに関する学びを通じた人材の発掘と管理技術の向上	<p>豊かな緑に包まれた、 地球環境にやさしい まちづくり</p> <p>を目指す</p>
(2) 都市部における高温常態化	<ul style="list-style-type: none">・公園・緑地のネットワーク形成の更なる充実・都市部における緑陰を形成する樹木の量および質の向上・緑化に対する市民意識の醸成	<ul style="list-style-type: none">・水と緑のネットワーク強化による、快適に歩けるまちづくり・樹木の植栽や、樹木が生育しやすい土壌環境づくり、樹冠の拡大による緑陰の最大化・緑化事例や、緑と暮らす心地よさの周知	<p>緑豊かで快適な都市 環境づくり</p> <p>を目指す</p>
(3) 生物多様性	<ul style="list-style-type: none">・農地の減少や遊休農地の増加・里地里山や森林と市民との関わりや接点の不足・外来生物の侵入や定着・里地里山・森林の多様な機能の保全	<ul style="list-style-type: none">・市民農園など、農地に親しむ場の創出・農村定住の推進など、里地里山や森林に関わる人や機会の充実・外来生物防除の取り組みの推進・資源が循環する持続可能な管理の構築	<p>健全な里地里山・森林が持続的に維持され、様々な生物と共生するまちづくり</p> <p>を目指す</p>

第3章：課題と今後のみどりへの展望

1. 課題と今後のみどりへの展望

	課 題	今後のみどりへの展望	目指すまちづくり
(4) Well-being (幸福度)	<ul style="list-style-type: none">・ 管理の行き届いていない緑空間・ 魅力の乏しい公園の増加・ みどりに関する情報発信の不足・ みどりの活動への参加のハードル	<ul style="list-style-type: none">・ 新たな技術も取り入れた、効率的で高質な緑空間の管理運営・ 多様なニーズに対応した整備や多様な主体のノウハウを活かした公園の魅力向上・ 様々な媒体によるみどりの情報発信・共有と、気軽に参加できる活動内容の充実	<p>質の高い緑にあふれ、魅力的な緑の空間を身近に感じられるまちづくり</p> <p>を目指す</p>
(5) 少子高齢化	<ul style="list-style-type: none">・ 利用頻度が低い公園等の活用・ ルールが多く、利用しにくいイメージがある公園・ ニーズに対応していない遊具等の公園施設・ 既存のボランティア団体の高齢化	<ul style="list-style-type: none">・ 公園施設の適正化や、新たな活用方法の検討・ 地域とつくる公園利用ルールなど、外遊びしやすい環境の整備・ 地域のニーズを反映した施設改修の実施・ 気軽に参加できる活動内容の充実や、民間事業者などの多様な主体との連携	<p>誰もがみどりを楽しみ、みどりを通じて交流ができるまちづくり</p> <p>を目指す</p>
(6) 防災・減災	<ul style="list-style-type: none">・ 市内に広く分布する土砂災害特別警戒区域などにおける災害リスクの増大・ 樹林が手入れされておらず、倒木等により不安定となった法面からの土砂流出・ 激甚化する集中豪雨等への対策	<ul style="list-style-type: none">・ 治山砂防事業や六甲山系グリーンベルト整備事業など、災害に強い森づくりの推進・ 適切な森林の管理による、健全な森林環境の形成・ グリーンインフラを活用した、雨水流出抑制などの防災・減災機能の強化	<p>緑が持つ多様な機能を活かした災害に強いまちづくり</p> <p>を目指す</p>

第3章：課題と今後のみどりへの展望

1. 課題と今後のみどりへの展望

	課 題	今後のみどりへの展望	目指すまちづくり
(7)公園施設の老朽化、公園樹・街路樹の老木化	<ul style="list-style-type: none">・老朽化した公園施設による危険性の増大・大木化・老木化した樹木の増加による事故リスクの増大	<ul style="list-style-type: none">・老朽化した公園施設の計画的な改築更新による安全性の向上・大木化・老木化した樹木の適切な保全と伐採および更新	安全・安心で快適な緑空間づくり を目指す
(8)市街地や郊外部の人、団体、企業など多様な主体によるみどりの取り組み	<ul style="list-style-type: none">・みどりの魅力や取り組みに関する情報発信の不足・多様な主体と連携していく仕組みの不足・行政との連携や協働に対するハードル	<ul style="list-style-type: none">・神戸のみどりの情報発信や共有による、知る機会の増加・多様な主体がみどりの活動に参加できる場や仕組みなどの環境づくり・様々な企業や団体等が気軽に協働できるメニューの充実	神戸のみどりに関わる多くの人との協働 を目指す

第4章：施策の展開（施策編第2章）

本編第4章1～3（施策編第2章1～3） 施策の内容

施 策		内 容	
①里地里山・森林の 保全・育成・活用		<ul style="list-style-type: none">・ 緑の法令・条例に基づく保全・育成・ 災害に強い森づくりの推進・ 循環型の里地里山・森林の再生	<ul style="list-style-type: none">・ 適切な森林の管理・ 森林レクリエーション環境の充実・ 都市農村交流の環境づくり
②まちの 緑や 公園・ 街路樹 の有効 活用	ニュータウンを 含む郊外部	<ul style="list-style-type: none">・ メリハリをつけた緑の管理	
	既成市街地・ 都心部	<ul style="list-style-type: none">・ 水と緑のネットワークづくり・ 神戸の顔となる都心部の魅力向上	<ul style="list-style-type: none">・ 既成市街地の緑の保全・育成と緑化推進
	ウォーターフロ ント	<ul style="list-style-type: none">・ ウォーターフロントの魅力向上	<ul style="list-style-type: none">・ 自然環境や歴史・文化の保全
		<ul style="list-style-type: none">・ 公園施設の適切な保全と更新・ 神戸の魅力を高め、安全を守る大規模公園	<ul style="list-style-type: none">・ 地域に愛される身近な公園の充実・ 公園・緑地の防災・減災対策
		<ul style="list-style-type: none">・ 街路樹や公園樹木の健全な育成と管理、更新	
③多様な主体とともに みどりを支える		<ul style="list-style-type: none">・ みどりの活動参加へのきっかけづくり・ みどりを支える取り組み	<ul style="list-style-type: none">・ 持続的な仕組みづくり

第4章：施策の展開（施策編第2章）

本編第4章1～3（施策編第2章1～3） 施策の内容

施 策		内 容	
①里地里山・森林の 保全・育成・活用		<ul style="list-style-type: none">・ 緑の法令・条例に基づく保全・育成・ 災害に強い森づくりの推進・ 循環型の里地里山・森林の再生	<ul style="list-style-type: none">・ 適切な森林の管理・ 森林レクリエーション環境の充実・ 都市農村交流の環境づくり
②まちの 緑や 公園・ 街路樹 の有効 活用	ニュータウンを 含む郊外部	<ul style="list-style-type: none">・ メリハリをつけた緑の管理	
	既成市街地・ 都心部	<ul style="list-style-type: none">・ 水と緑のネットワークづくり・ 神戸の顔となる都心部の魅力向上	<ul style="list-style-type: none">・ 既成市街地の緑の保全・育成と緑化推進
	ウォーターフロ ント	<ul style="list-style-type: none">・ ウォーターフロントの魅力向上	<ul style="list-style-type: none">・ 自然環境や歴史・文化の保全
		<ul style="list-style-type: none">・ 公園施設の適切な保全と更新・ 神戸の魅力を高め、安全を守る大規模公園	<ul style="list-style-type: none">・ 地域に愛される身近な公園の充実・ 公園・緑地の防災・減災対策
		<ul style="list-style-type: none">・ 街路樹や公園樹木の健全な育成と管理、更新	
③多様な主体とともに みどりを支える		<ul style="list-style-type: none">・ みどりの活動参加へのきっかけづくり・ みどりを支える取り組み	<ul style="list-style-type: none">・ 持続的な仕組みづくり

第4章：施策の展開（施策編第2章）

① 里地里山・森林の保全・育成・活用

○緑の法令・条例に基づく保全・育成

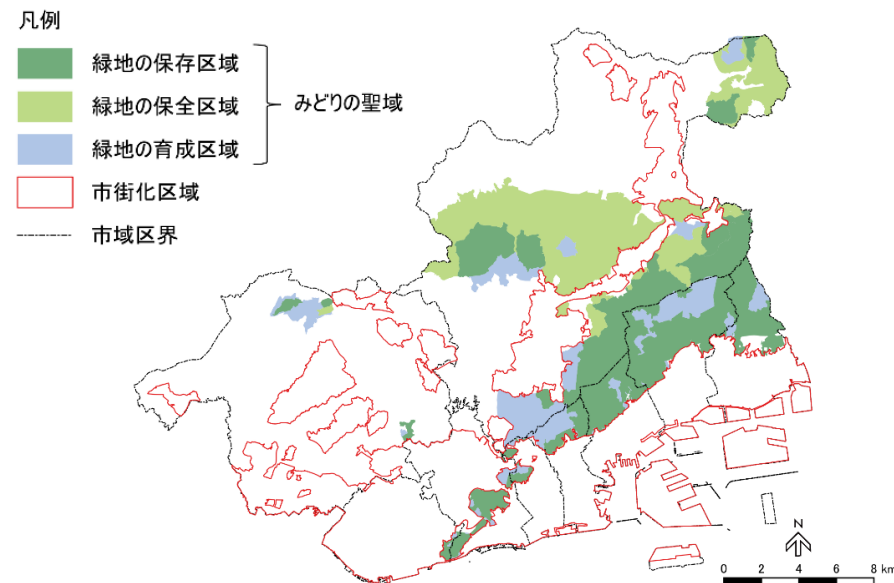
- ・ 緑の条例に基づく森林の保全・育成
- ・ 「みどりの聖域」の指定区域見直し
- ・ 特別緑地保全地区の指定
- ・ 自然公園法による利用増進と保護

○適切な森林の管理

- ・ 適切な森林の管理の推進
- ・ 森林のある都市公園の管理の推進

○災害に強い森づくりの推進

- ・ 市街地に面する斜面の対策
- ・ 災害に強い森づくりの推進



【図6 みどりの聖域】



植林により再生した再度山



里山保全活動（キーナの森）

第4章：施策の展開（施策編第2章）

① 里地里山・森林の保全・育成・活用

○森林レクリエーション環境の充実

- ・安全で快適な登山道等の整備
- ・眺望の向上
- ・六甲山の登山文化の魅力発信
- ・大規模公園の魅力向上

○循環型の里地里山・森林の再生

- ・里地里山・森林の再生
- ・里地里山・森林の整備活動への支援
- ・多様な機能の保全
- ・樹木の病虫害や外来生物、有害鳥獣の防除、拡大抑制

○都市農村交流の環境づくり

- ・田園地域におけるコミュニティ拠点の整備促進
- ・緑豊かな里づくりの推進
- ・里地里山の保全活用に向けた環境整備
- ・里山や遊休農地を活用したイベントの開催や交流の促進



道標・案内板の設置



トレイルステーション神戸



田園地域におけるコミュニティ拠点の整備（押部谷町公園）

第4章：施策の展開（施策編第2章）

本編第4章1～3（施策編第2章1～3） 施策の内容

施 策		内 容	
①里地里山・森林の 保全・育成・活用		<ul style="list-style-type: none">・ 緑の法令・条例に基づく保全・育成・ 災害に強い森づくりの推進・ 循環型の里地里山・森林の再生	<ul style="list-style-type: none">・ 適切な森林の管理・ 森林レクリエーション環境の充実・ 都市農村交流の環境づくり
②まちの 緑や 公園・ 街路樹 の有効 活用	ニュータウンを 含む郊外部	<ul style="list-style-type: none">・ メリハリをつけた緑の管理	
	既成市街地・ 都心部	<ul style="list-style-type: none">・ 水と緑のネットワークづくり・ 神戸の顔となる都心部の魅力向上	<ul style="list-style-type: none">・ 既成市街地の緑の保全・育成と緑化推進
	ウォーターフロ ント	<ul style="list-style-type: none">・ ウォーターフロントの魅力向上	<ul style="list-style-type: none">・ 自然環境や歴史・文化の保全
		<ul style="list-style-type: none">・ 公園施設の適切な保全と更新・ 神戸の魅力を高め、安全を守る大規模公園	<ul style="list-style-type: none">・ 地域に愛される身近な公園の充実・ 公園・緑地の防災・減災対策
		<ul style="list-style-type: none">・ 街路樹や公園樹木の健全な育成と管理、更新	
③多様な主体とともに みどりを支える		<ul style="list-style-type: none">・ みどりの活動参加へのきっかけづくり・ みどりを支える取り組み	<ul style="list-style-type: none">・ 持続的な仕組みづくり

第4章：施策の展開（施策編第2章）

② まちの緑や公園・街路樹を有効に活用する取り組み

1) ニュータウンを含む郊外部の緑の空間づくり

○メリハリをつけた緑の管理

- ・メリハリのある緑の管理の推進

2) 既成市街地と都心部における魅力的な緑の空間づくり

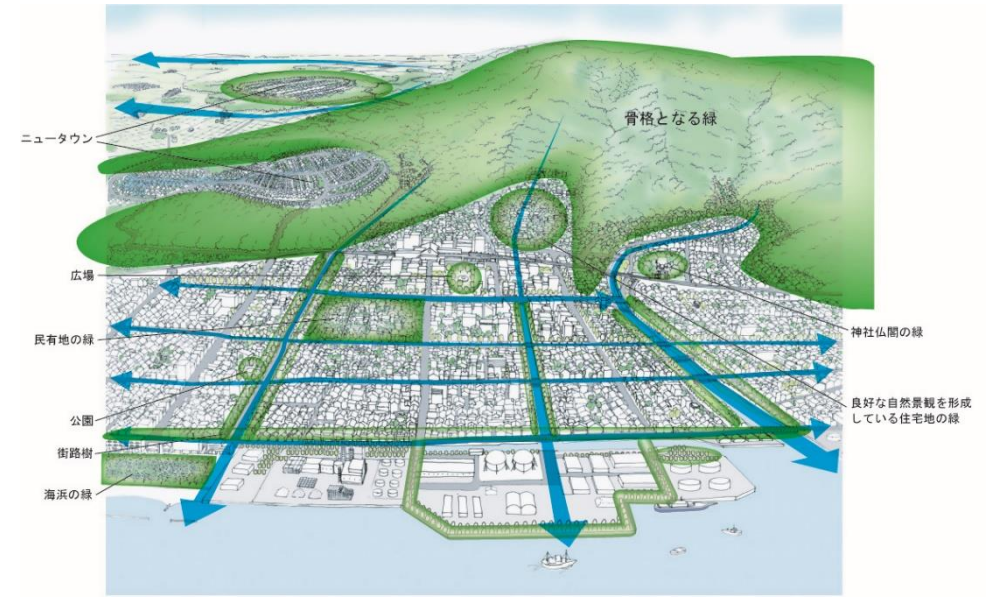
○水と緑のネットワークづくり

- ・水と緑のネットワークの強化

○既成市街地の緑の保全・育成と緑化推進

- ・緑の多様な機能の活用

緑の保全・育成と緑化推進



【図7 水と緑のネットワーク】



オープンレンタルスペース（つくしが丘公園）



こうべ木陰プロジェクト

第4章：施策の展開（施策編第2章）

② まちの緑や公園・街路樹を有効に活用する取り組み

2) 既成市街地と都心部における魅力的な緑の空間づくり

○神戸の顔となる都心部の魅力向上

- ・ 都心部の緑の高質化
- ・ 神戸らしい景観を眺める視点場の確保
- ・ Living Nature Kobeの取り組み



Living Nature Kobe



都心・三宮（税幹線）再整備イメージ

3) ウォーターフロントの魅力向上

○ウォーターフロントの魅力向上

- ・ 緑豊かでにぎわいのあるウォーターフロントの形成
- ・ 歴史・文化を活かした景観の保全



ウォーターフロントの将来像イメージ

第4章：施策の展開（施策編第2章）

② まちの緑や公園・街路樹を有効に活用する取り組み

4) 安全・安心で何度でも行きたくなる魅力的な公園・緑地づくり

○公園施設の適切な保全と更新

- ・公園・緑地の魅力向上
- ・公園施設の改築更新
- ・誰もが使いやすい公園の整備
- ・長寿命化計画の改定
- ・公園・緑地の適切な維持管理
- ・防犯に配慮した公園づくり



Park-PFI制度活用事例（東遊園地）



座面の温度が変わるベンチ（磯上公園）



公園施設の安全点検



インクルーシブ遊具（御影公園）

第4章：施策の展開（施策編第2章）

② まちの緑や公園・街路樹を有効に活用する取り組み

4) 安全・安心で何度でも行きたくなる魅力的な公園・緑地づくり

○地域に愛される身近な公園の充実

- ・ 身近な公園の魅力の向上
- ・ 歩いて行ける公園・緑地等の確保
- ・ 外遊びがしやすい公園づくり
- ・ 地域の特性に応じた公園の機能再編
- ・ 公園・緑地等の適正化と新たな活用方法の検討
- ・ 長期未整備公園の見直し



拠点公園再整備（湊川公園）



魅力的な遊具の整備（ポートアイランド南公園）



ボール遊びできること看板



バスケットゴールの設置（神楽公園）

第4章：施策の展開（施策編第2章）

② まちの緑や公園・街路樹を有効に活用する取り組み

4) 安全・安心で何度でも行きたくなる魅力的な公園・緑地づくり

○神戸の魅力を高め、安全を守る大規模公園

- ・大規模公園の魅力の向上
- ・災害時に拠点となる大規模公園
- ・市内外の大規模公園との連携



Park-PFI制度活用事例（海浜公園）



王子公園再整備イメージ



マウンテンバイクフォレスト神戸
（森林植物園）

第4章：施策の展開（施策編第2章）

② まちの緑や公園・街路樹を有効に活用する取り組み

4) 安全・安心で何度でも行きたくなる魅力的な公園・緑地づくり

○公園・緑地の防災・減災対策

- ・グリーンインフラを活かした公園整備や防災・減災機能の充実
- ・公園・緑地における法面防災対策
- ・市民と取り組む防災活動の推進
- ・災害の記憶を残すモニュメント等の保存



法面防災対策のための樹林管理



阪神・淡路大震災1.17のつどい

5) 街路樹や公園樹による緑豊かで風格のあるまちなみづくり

○街路樹や公園樹の健全な育成と管理、更新

- ・街路樹等の適正化
- ・緑の高質化
- ・街路樹等の安全対策
- ・健全な維持管理
- ・外来生物の防除、拡大抑制



街路樹点検の様子

第4章：施策の展開（施策編第2章）

本編第4章1～3（施策編第2章1～3） 施策の内容

施 策		内 容	
①里地里山・森林の 保全・育成・活用		<ul style="list-style-type: none">・ 緑の法令・条例に基づく保全・育成・ 災害に強い森づくりの推進・ 循環型の里地里山・森林の再生	<ul style="list-style-type: none">・ 適切な森林の管理・ 森林レクリエーション環境の充実・ 都市農村交流の環境づくり
②まちの 緑や 公園・ 街路樹 の有効 活用	ニュータウンを 含む郊外部	<ul style="list-style-type: none">・ メリハリをつけた緑の管理	
	既成市街地・ 都心部	<ul style="list-style-type: none">・ 水と緑のネットワークづくり・ 神戸の顔となる都心部の魅力向上	<ul style="list-style-type: none">・ 既成市街地の緑の保全・育成と緑化推進
	ウォーターフロ ント	<ul style="list-style-type: none">・ ウォーターフロントの魅力向上	<ul style="list-style-type: none">・ 自然環境や歴史・文化の保全
		<ul style="list-style-type: none">・ 公園施設の適切な保全と更新・ 神戸の魅力を高め、安全を守る大規模公園	<ul style="list-style-type: none">・ 地域に愛される身近な公園の充実・ 公園・緑地の防災・減災対策
		<ul style="list-style-type: none">・ 街路樹や公園樹木の健全な育成と管理、更新	
③多様な主体とともに みどりを支える		<ul style="list-style-type: none">・ みどりの活動参加へのきっかけづくり・ みどりを支える取り組み	<ul style="list-style-type: none">・ 持続的な仕組みづくり

第4章：施策の展開（施策編第2章）

③ 多様な主体とともにみどりを支える取り組み

○みどりの活動参加へのきっかけづくり

- ・ みどりの魅力に関する情報発信・共有
- ・ みどりに関わる機会づくり
- ・ 子どもや青少年の育成

○持続的な仕組みづくり

- ・ 持続的なみどりの活動につながる仕組みづくり
- ・ みどりに関わる人材の発掘・育成
- ・ 多様な主体による資源の循環利用

○みどりを支える取り組み

- ・ 多様な主体で支えるみどり



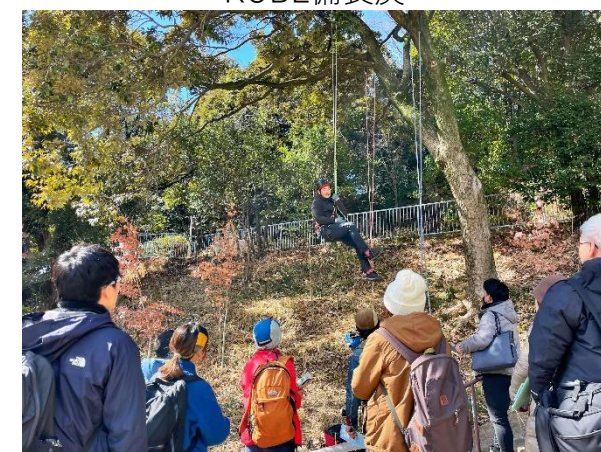
木材ブランドの広報（KOBE WOOD）



KOBE備長炭



ワークショップ（神戸緑縁座）



公園利活用の社会実験イベント
（観音山公園）

第5章：計画の目標とみどりへのかかわり方

1. 計画の目標

(1) 目標の設定

- ・育んできたみどりを次の25年に継承するため、みどりの量と質に関する目標や、みどりの認知度、みどりを育む機運を醸成するための目標を定める。
- ・前計画から引き続く指標を【継続指標】、本計画で新たに定める指標を【新規指標】。

(2) 具体的な目標

①みどりの量の確保と質の向上を目指します

市街地では安全・安心で快適な緑を継続的に確保し、今後も量を維持するとともに、質の向上を目指す。里地里山・森林の民有地では、健全な緑が持続できるよう管理をサポートする。

【継続指標】緑被率の維持

⇒市街化区域の緑被率30%以上を確保する。

【継続指標】身近な緑に満足と感じる市民割合の増加

⇒「満足」、「どちらかといえば満足」と回答する市民の割合（2023年時点69.8%）を高める。

【新規指標】民有地の健全な緑の維持

⇒里山や森林を健全に保全・育成するための助成等を受けて整備している箇所数（2024年時点30箇所）を増やす。

【新規指標】民間事業者等が取り組む緑化の推進

⇒「神戸市建築物等における環境配慮の推進に関する条例」による、壁面や屋上、敷地等の緑化について、年間取り組み件数を維持し、まちの緑化を推進する。
（2020年から2024年までの平均件数 | 80件/年）

第5章：計画の目標とみどりへのかかわり方

1. 計画の目標

(2) 具体的な目標

②みどりの認知度を高めます

みどりに関する取り組みを発信・拡散することで、みどりの認知度を高める。

【新規指標】SNSフォロワー数の増加

⇒神戸市や神戸市公園緑化協会等が管理するSNS（インスタグラム等）で、みどりに関する取り組みを発信・拡散し、フォロワーを増やすことで、利用者による発信につなげる。
※対象とするインスタグラムと2025年10月時点のフォロワー数
フォロワー数（2025年10月時点）：

Living Nature Kobe、神戸総合運動公園、森林植物園、
須磨離宮公園、あいな里山公園 計31,758人

③みどりを育む機運を醸成します

「緑に関する活動に参加している市民の割合※1」の結果より、現在活動をしていないものの、「機会があれば参加したい」と回答した人は約40%に上り、緑に関する活動に高い関心があることがわかった。

※1各市民の割合 | 市政アドバイザーへのアンケート調査による数値
このことから、神戸のみどりに触れる機会を増やすことで、みどりに関わる人を広げ、みどりを育む機運を醸成する。

【新規指標】里地里山・森林、公園・緑地での市民との協働

⇒イベントやボランティアの増加など市民の関わりを増やす。

※公園の行為許可件数：1,344件（2024年時点）

里地里山・森林、公園・緑地のボランティア団体数：

まちの美緑花ボランティア 691団体（2024年時点）

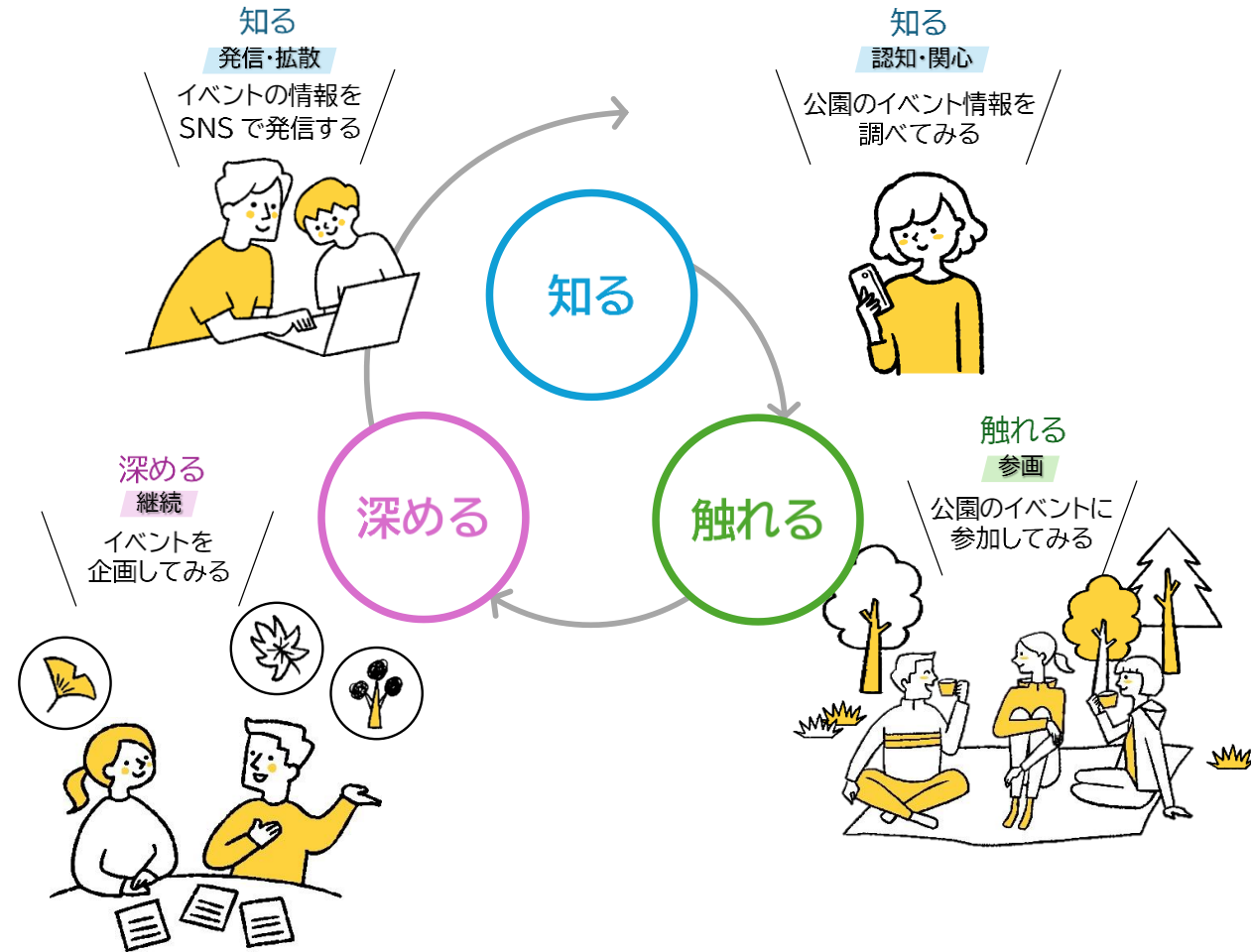
公園清掃ボランティア 59団体（2024年時点）

登山道等の森守ボランティア 19団体（2024年時点）

第5章：計画の目標とみどりへのかかわり方

2. みどりへのかかわり方

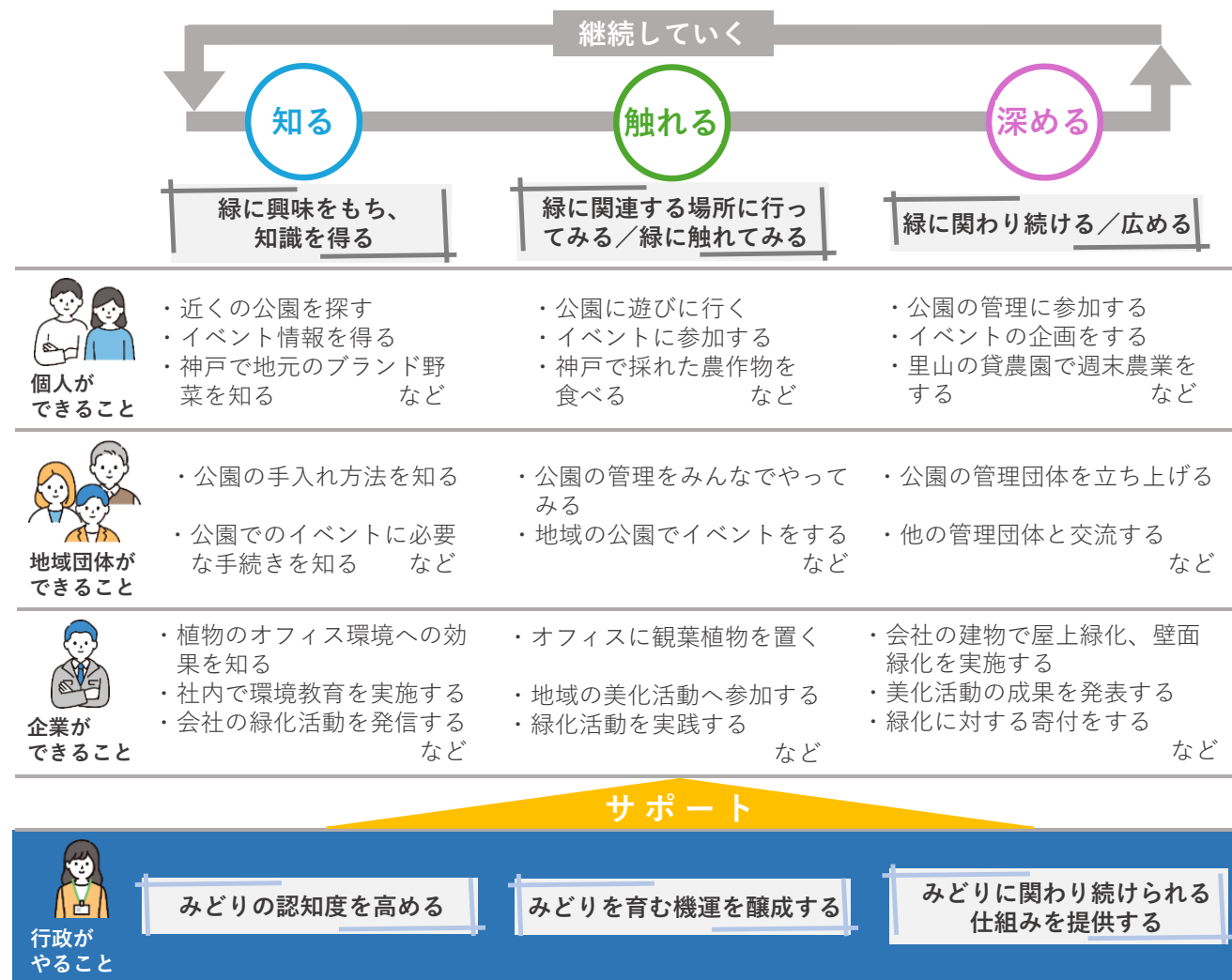
- ・本計画の目標を達成していくため、行政が実施する施策と並行して、市民のみどりへのかかわりも広げていく必要がある。
- ・みどりを「知る」ことから始め、「触れる」ことで参画し、活動することでみどりへの関心を「深める」、そして情報の発信者となり、他の誰かの「知る」を生む。こうした取り組みが連鎖し、より大きな広がりが生まれていくことを目指す。
- ・神戸市は、これらのステップが円滑に進められるよう、様々な施策を展開し、みどりに関わる人をサポートしていく。
- ・こういった取り組みにより、誰もがみどりにかかわれる機会を幅広く創出する。



【図8 3つのステップの概要図】

第5章：計画の目標とみどりへのかかわり方

2. みどりへのかかわり方



【図9 3つのステップの進め方のイメージ図】

第6章：計画の見直しと改善

6 計画の見直しと改善

- ・本計画は、目標年次を2050年とし、基本理念やみどりの将来像、それに向けた施策の展開などを示すものだが、みどりを取り巻く社会経済情勢は今後も変化するものと予想される。
そこで、施策の実施状況の評価や、社会経済情勢の変化等を総合的に勘案しながら、10年を目処に、計画の見直しを図る。
- ・計画の見直しは、Plan（計画・見直し）、Do（実行）、Check（検証・評価）、Action（改善・反映）のPDCAサイクルに基づいて、市民の意見を反映し、各種の新たなデジタルツールも活用しながら継続的に改善する。
また、関連する他分野とも連携しながら、必要に応じて計画に反映していく。
- ・なお、今後も様々な見地から幅広く意見聴取を行うとともに、広報や情報の発信・共有にも積極的に取り組む。

